

令和 8 年 度 施 工

単	公
---	---

工 事 名	町界看板撤去工事	実 施 設 計 書
-------	----------	-----------

【 月単位4週8休(補正1.04)工事 】

(見積用参考資料)

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有する ものではない。
--

設 計 一 覧 表

工 事 名	工 事 箇 所	工 事 内 容
町界看板撤去工事	1.赤井川地内(赤井川134-3) 2.石倉町地内(石倉町58-3) 3.砂原東地内(砂原東3-72-11)	【月単位4週8休(補正1.04)工事】 町界看板3基の解体・撤去

工 事 費 内 訳

工 事 費	
工 事 価 格	
消費税等相当額	

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	直接工事費						
	経費対象外額						
							共通仮設費対象額
	共通仮設費		式	1.0			経費率:
	積上げ分		式	1.0			
	純工事費						現場管理費対象額
	現場管理費		式	1.0			経費率:
	工事原価						一般管理費対象額
	一般管理費		式	1.0			経費率:
	工事価格 計						
	鉄骨材スクラップ控除費						
	工事価格 再計						
	消費税相当額				10%		
	総計 (工事費)						

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	直接工事費						
I	赤井川地内		式	1.0			経費対象外額
II	石倉町地内		式	1.0			経費対象外額
III	砂原東3丁目地内		式	1.0			経費対象外額
	直接工事費						対象外 計
	鉄骨材スクラップ控除	I ～ III 合計	式	1.0			
	共通仮設費	I ～ III 合計	式	1.0			
	※ 本工事は「月単位4週8休(補正1.04)工事」であり、月単位の4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日以上)以上)を前提に補正係数により労務費を補正し算出するものとする。						

細 目 内 訳 書

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
I	赤井川地内						
	直接工事費						
1	直接仮設工事		式	1.0			
2	解体工事		式	1.0			
3	重機運搬回送費		式	1.0			
4	埋戻し・整地工事		式	1.0			
5	産業廃棄物処理費	※経費対象外	式	1.0			※経費対象外
	直接工事費 合 計						
6	鉄骨材スクラップ控除		式	1.0			
7	共通仮設費		式	1.0			共通費積上げ

細 目 内 訳 書

赤井川

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	解体工事						
	鉄骨軸組取壊し(スパンドレル含)	小規模(集積共)人力 計上	t	3.5			
	取り壊し鉄骨運搬	6t車 計上 鉄骨:有価材処分	t	3.5			
	解体器具 損料		式	1.0			
	コンクリート取壊し 基礎	ユンボ0.8m3級 1台 圧砕機・ブレーカー併用	t	37.4			
	同上 コンクリート類 集積・積込	機械(重機)積込	m3	15.6			
	照明器具等撤去 2人工計上	照明器具2台(灯具・ランプ・安定器・アーム)、電気BOX等	人工	2.0			
	上記 電気工事雑材費		式	1.0			
	解体工事 計						

森 町

細 目 内 訳 書

赤井川

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	重機械運搬回送費						
	重機械運搬回送費	0.8m3級×1台(往復)	台	1.0			
	重機械運搬回送費 計						
4	埋戻し・整地工事						
	埋戻し(小規模)	基礎部分(15.6m3)体積×1.2 + 鋤取り分 3.5m3 計上	m3	22.2			
	鋤取り(積込共 H500程度)	(既設撤去範囲6.4m×1.8m×0.5m 計上)	m3	5.8			
	※乗り入れ通路を含む						
	埋戻し・整地工事 計						

森 町

細 目 内 訳 書

赤井川

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
5	産業廃棄物処理費						
	発生材運搬費	DID無し、7.5km以内、 10tダンプ、機械積込					
	鉄筋コンクリート類		m3	11.8			
	仕上・材料類	照明器具、電材等	m3	1.0			
	鋤取り物		m3	3.5			
	小 計						
	処分費	※経費対象外					
	コンクリート有筋		t	28.3			
	金属くず	照明器具等	t	0.1			
	混合廃棄物b		t	0.1			
	ランプ(水銀灯)	電気配線類	Kg	2.0			
	鋤取り物		t	3.5			
	循環税相当額		t	3.7			
	小 計						
	産業廃棄物処理費 計						

細 目 内 訳 書

赤井川

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	鉄骨材スクラップ控除						
	鉄骨材スクラップ控除	※鉄骨は有価物として工事費の中で相殺として計上	t	3.5			
	鉄骨材スクラップ控除 計						
7	共通仮設費						
	楊重機械(解体撤去用)	ラフテレーン16t(オペ付き)	日	2.0			
	仮設鉄板	鉄板寸法:1,524×6,096×22mm×8枚×7日間 計上	m2	74.3			
	上記 運搬費		式	1.0			
	交通誘導員B	7日間×1名 計上	人	7.0			
	共通仮設費 計						

森 町

細 目 内 訳 書

石倉

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
Ⅱ	石倉町地内						
	直接工事費						
1	直接仮設工事		式	1.0			
2	解体工事		式	1.0			
3	重機運搬回送費		式	1.0			
4	埋戻し・整地工事		式	1.0			
5	産業廃棄物処理費	※経費対象外	式	1.0			※経費対象外:
	直接工事費 合 計						
6	鉄骨材スクラップ控除		式	1.0			
7	共通仮設費		式	1.0			共通費積上げ

森 町

細 目 内 訳 書

石倉

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
1	直接仮設工事						
	看板外部足場 (緊結くさび足場同等程度)	6.4m×1.8m×H5.7m 7日間計上	m2	93.5			
	上記 養生シート		m2	93.5			
	上記 仮設材運搬費		式	1.0			
	仮囲い	H=2.0 t=1.2mm w=500 7日間計上	m	10.0			
	上記 仮設材運搬費		m	10.0			
	直接仮設工事 計						

森 町

書 訳 内 目 細

石倉

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	解体工事						
	鉄骨軸組取壊し(スパンドレル含)	小規模(集積共)人力 計上	t	1.9			
	取り壊し鉄骨運搬	6t車 計上 鉄骨:有価材処分	t	1.9			
	解体器具 損料		式	1.0			
	コンクリート取壊し 基礎	ユンボ0.8m3級 1台 圧碎機・ブレーカー併用	t	19.9			
	同上 コンクリート類 集積・積込	機械(重機)積込	m3	8.3			
	照明器具等撤去 2人工計上	照明器具2台(灯具・ランプ・安定器・アーム)、電気BOX等	人工	2.0			
	上記 電気工事雑材費		式	1.0			
	解体工事 計						

森 町

細 目 内 訳 書

石倉

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	重機械運搬回送費						
	重機械運搬回送費	0.8m3級×1台(往復)	台	1.0			
	重機械運搬回送費 計						
4	埋戻し・整地工事						
	埋戻し(小規模)	基礎部分(8.3m3)体積×1.2 + 鋤取り分3.5m3 計上	m3	13.5			
	鋤取り(積込共 H300程度)	(既設撤去範囲 6.4m×1.8m×0.3m 計上)	m3	3.5			
	※乗り入れ通路を含む						
	埋戻し・整地工事 計						

森 町

細 目 内 訳 書

石倉

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
5	産業廃棄物処理費						
	発生材運搬費	DID無し、39km以内、 10tダンプ、機械積込					
	鉄筋コンクリート類		m3	8.3			
	仕上・材料類	照明器具、電材等	m3	1.0			
	鋤取り物		m3	3.5			
	小 計						
	処分費	※経費対象外					
	コンクリート有筋		t	19.9			
	金属くず	照明器具等	t	0.1			
	混合廃棄物b		t	0.1			
	ランプ(水銀灯)	電気配線類	Kg	2.0			
	鋤取り物		t	3.5			
	循環税相当額		t	3.7			
	小 計						
	産業廃棄物処理費 計						

細 目 内 訳 書

石倉

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	鉄骨材スクラップ控除						
	鉄骨材スクラップ控除	※鉄骨は有価物として工事費の中で相殺として計上	t	1.9			
	鉄骨材スクラップ控除 計						
7	共通仮設費						
	楊重機械(解体撤去用)	ラフテレーン16t(オペ付き)	日	2.0			
	仮設鉄板	鉄板寸法:1,524×6,096×22mm×8枚×7日間 計上	m2	74.3			
	上記 運搬費		式	1.0			
	交通誘導員B	7日間×2名 計上	人	14.0			
	共通仮設費 計						

森 町

細 目 内 訳 書

砂原

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
Ⅲ	砂原東3丁目地内						
	直接工事費						
1	直接仮設工事		式	1.0			
2	解体工事		式	1.0			
3	重機運搬回送費		式	1.0			
4	埋戻し・整地工事		式	1.0			
5	産業廃棄物処理費	※経費対象外	式	1.0			※経費対象外:
	直接工事費 合 計						
6	鉄骨材スクラップ控除		式	1.0			
7	共通仮設費		式	1.0			共通費積上げ

森 町

細 目 内 訳 書

砂原

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	解体工事						
	鉄骨軸組取壊し(スパンドレル含)	小規模(集積共)人力 計上	t	2.6			
	取り壊し鉄骨運搬	6t車 計上 鉄骨:有価材処分	t	2.6			
	解体器具 損料		式	1.0			
	コンクリート取壊し 基礎	ユンボ0.8m3級 1台 圧碎機・ブレーカー併用	t	23.5			
	同上 コンクリート類 集積・積込	機械(重機)積込	m3	9.8			
	照明器具等撤去 2人工計上	照明器具2台(灯具・ランプ・安定器・アーム)、電気BOX等	人工	2.0			
	上記 電気工事雑材費		式	1.0			
	解体工事 計						

森 町

細 目 内 訳 書

砂原

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	重機械運搬回送費						
	重機械運搬回送費	0.8m3級×1台(往復)	台	1.0			
	重機械運搬回送費 計						
4	埋戻し・整地工事						
	埋戻し(小規模)	基礎部分(15.6m3)体積×1.2 + 鋤取り分 3.5m3 計上	m3	22.2			
	鋤取り(積込共 H500程度)	(既設撤去範囲6.4m×1.8m×0.5m 計上)	m3	5.8			
	※乗り入れ通路を含む						
	埋戻し・整地工事 計						

森 町

細 目 内 訳 書

砂原

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
5	産業廃棄物処理費						
	発生材運搬費	DID無し、39km以内、 10tダンプ、機械積込					
	鉄筋コンクリート類		m3	9.8			
	仕上・材料類	照明器具、電材等	m3	1.0			
	鋤取り物		m3	3.5			
	小 計						
	処分費	※経費対象外					
	コンクリート有筋		t	23.5			
	金属くず	照明器具等	t	0.1			
	混合廃棄物b		t	0.1			
	ランプ(水銀灯)	電気配線類	Kg	2.0			
	鋤取り物		t	3.5			
	循環税相当額		t	3.7			
	小 計						
	産業廃棄物処理費 計						

細 目 内 訳 書

砂原

	名 称	仕 様 ・ 摘 要	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	鉄骨材スクラップ控除						
	鉄骨材スクラップ控除	※鉄骨は有価物として工事費の中で相殺として計上	t	2.6			
	鉄骨材スクラップ控除 計						
7	共通仮設費						
	楊重機械(解体撤去用)	ラフテレーン16t(オペ付き)	日	2.0			
	仮設鉄板	鉄板寸法:1,524×6,096×22mm×16枚×2日間 計上	m2	148.6			
	上記 運搬費		式	1.0			
	交通誘導員B	7日間×1名 計上	人	7.0			
	共通仮設費 計						

森 町

施 工 簡 所

住所 : 石倉町58-3

工事名称 : 町界看板撤去工事



住所 : 砂原東3-72-11

○ 住所 : 赤井川134-3

[illegible]

1:100,000 (1km=1cm)



【 特記仕様書 1-1 】

1. 共通仕様書

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築（及び建築改修）工事標準仕様書、建築（及び建築改修）工事監理指針（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）、建築物解体工事共通仕様書（いずれも最新版とする）により施工すること。

2. 設計書 質疑について

記載内容について質疑のないものは、当設計書を理解したものといたします。

3. 請負者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）により、適正に処理するとともに産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、適正に管理するとともに、工事完成後提出すること。

4. 廃棄物の処理（設計受入先、廃棄物の種類）

設計受入先：渡島管内産業廃棄物処理場

廃棄物の種類：木くず(廃材・抜根)、コンクリート、金属くず、石膏ボード、プラスチック廃、硝子・陶磁器くず、紙くず、繊維くず、混合廃棄物。

5. 建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）を提出すること。

クレダス廃止に伴う新様式。国土交通省より様式をダウンロードして記入ください。

6. 作業時間等については、監督員と適宜調整をお願いします。また、作業が土日祝祭日にまたがる場合は、事前に「土日祝祭日工事施工届」を提出ください。

7. 本工事の実施に当たっては、交通事故及び労働災害の防止に努めること。

8. 本工事の工事完成図書は電子納品（CD-R等にPDF等）対象工事とする。

9. その他不明な点が生じた場合は、速やかに監督員と協議を行い解決し工事を円滑に行うよう努めること。

10. その他事項

- ・工事着工前に担当課・監督員と日程や作業員駐車場・材料置場・資材搬入経路等の協議を行うこと。
- ・本工事の振動等による周辺建物への被害等のトラブルを避けるため、事前簡易調査は含むものとする。
- ・周辺住宅への被害があった場合は、施工の責任において対応するものとする。

【 特記仕様書 1-2 】

《 赤井川 》

- 民地側から通路を作り搬入・搬出をする(民地の使用許可は事前に役場側で手配)
- 解体はラフタークレーン等により分割(小バラシ)して作業を想定

◎隣接する国道の道路工事について

- ・管轄：北海道開発局/函館開発建設部/八雲道路事務所
(工事：北海道開発局/函館開発建設部/函館道路事務所)

現在、国道隣接する道路で北海道開発局による道路工事が進行中

上記工事担当者様(八雲道路事務所)に工事時期の連絡し調整を行うこと

※隣地側からの搬入・搬出を予定しており道路工事とは干渉しない予定だが、
工事中何らかの支障がでた場合は速やかに監督員に連絡すること

《 砂原 》

- 民地側から通路を作り搬入・搬出をする(民地の使用許可は事前に役場側で手配する)
- 解体はラフタークレーン等により分割(小バラシ)して作業を想定

◎隣接する国道について

- ・管轄：北海道開発局/函館開発建設部/八雲道路事務所
上記担当の方に工事時期の連絡し調整を行うこと(工事時期の連絡のみで了解済み)

《 石倉 》 ※特に交通量が多い為、細心の注意が必要です

- 既存ガードレールを外し道路側から搬入・搬出を想定
※既存ガードレールを外した際は放置せず、搬入・搬出毎に現状復旧すること
※片側交互通行になる際には前後にガードマンを配置し森警察署にて「道路使用許可」をとること
その際の看板設置内容(200M・100M・50M等)は警察署にて確認すること
- 解体時は道路側に仮囲いを設置し基礎解体時のコンクリート等が道路に飛散しないように配慮すること
- 解体はラフタークレーン等により分割(小バラシ)して作業を想定

◎隣接する国道について

- ・管轄：北海道開発局/函館開発建設部/八雲道路事務所
上記担当の方に工事時期の連絡し調整を行うこと(工事時期の連絡のみで了解済み)
※ガードレールの脱着については事前に了承済み

◇ 架空の北電線・NTT線の事前の確認を行うこと◇

～ 上記3カ所(赤井川・砂原・石倉)共通事項：NTT埋設物について ～

工事開始前に「立ち合いWebシステム」にて埋設物調査の申請をしてください

※日程が決まり次第、立合い担当の「つうけん(函館)」0138-77-1190へ連絡
(受付番号：4359)

【 特記仕様書 2 】 提出書類確認一覧表

工 事 名 : 町界看板撤去工事

仕様書・積算基準等を踏まえた上で、この工事の完成にあたって請負者が提出すべき書類等の一般的な体系は、参考までに次に示すところする。

分 類 : ①：契約図書、②：竣工図書(着工前確認)、③：竣工図書

分類	書 類 名	提出期限他	提出先	数 量	対象工事	備 考
契約後	①	工事着手届	契約管理課	2		
		工事工程表		2		労働基準監督署の押印必要
		現場代理人等指定通知書		2		
		同上 経歴書		2		
		労働者災害補償保険料報告書提出済の証		2		一部原本+1部写し
		建設業退職金共済掛金収納書等届		2		
		工事実績情報の登録(CORINS)登録内容確認書(受注・竣工各提出)		各1	500万以上	変更時は、変更契約締結後、10日以内
		下請選定通知書		2		注文請書の写し添付
		建設リサイクル報告様式		1	建設リサイクル法対象工事	再資源利用計画、実施を添付
着工前	②	施工計画書	監督員	1		
		施工体制台帳		1	契約金額にかかわらず、下請業者を入れる場合は全て必要	
		材料承認願い		1		計画：黒、実施：赤 等で識別
		実施工程表		1		竣工図書にFD、又はCDも提出
		建設リサイクル報告様式(計画書)		1	100万以上	
工事完了前	③	工事打合せ協議簿	監督員	1		
		実施工程表		1		計画：黒、実施：赤 等で識別
		工事通報(予定・実施)		1		作成工期は、完成通知届日まで
		土日祭日作業届		1		
		工程写真、各種写真		1		【重】写真には黒板を入れること。竣工図書にFD、又はCDも提出
		・仮設状況(工事看板、仮囲い、足場等)				
		・着手前、竣工後				
		・納入材料状況・使用機械				
		・各種材料写真				
		・各種工程写真(工種別)				
		・廃棄物(積降状況)				
		材料品質証明書		1		
		出荷証明書		1		
		搬入材料検査簿		1		一覧表添付のこと
		納品伝票		1		
		各種試験成績書		1		
		社内、監理者、監督員検査の記録簿、写真		1		社内検査は現場、及び書類
		安全管理記録簿、写真		1		写真はFD、又はCDも提出
		緊急連絡網(関係各課、全下請け業者)		1		
		下請け選定、請書の写し		1		
完了後	①	工事完成通知書	監督員経由	1		
		完成写真(着手前・完成後)		1		

【取扱留意事項】

- この工事では、原則「提出ランク」により適用する。但し、これらの加編、一部削除、又は編成替えを生じる場合がある。
- この工事では、あくまでも支障なく工事進捗した場合による最低限の提出の指標であって、契約図書及び関係諸法令で定める管理義務又は、作成保管が決して不履行されないよう十分留意すると共に、事故、疑義、若しくは必要のある時は、別途、提出等が課せられるものと

【 特記仕様書 3 】 月単位4週8休工事の実施について

1. 目的

本実施要領は、営繕工事における週休2日の取組において労務費の補正等の試行を行うために必要な事項を定め、もって週休2日を促進することを目的とする。

2. 週休2日の要領を下記に示す

(1) 週休2日

月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。

(2) 対象期間

工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

(3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。

(4) 現場休息

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

(5) 4週8休以上

月単位の4週8休以上とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。なお、現場閉所日（現場休息日）を原則として土曜日・日曜日としない場合においては、上記の「土曜日・日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。

3. 週休2日を実施出来なかった場合の対応

月単位の4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日以上）以上）を前提に補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、通期の4週8休に満たない場合は補正係数を除し、請負金額のうち労務費補正分を減額変更するものとする。